



## 2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年7月27日

上場会社名 未来工業株式会社 上場取引所 東 名  
 コード番号 7931 URL <https://www.mirai.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山田 雅裕  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 中島 靖 TEL 0584-68-1200  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月3日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第1四半期の連結業績（2021年3月21日～2021年6月20日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	8,941	1.7	887	17.9	863	17.0	565	36.1
2021年3月期第1四半期	8,794	△5.6	753	△10.0	738	△18.9	415	△28.4

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 486百万円 (△18.6%) 2021年3月期第1四半期 597百万円 (18.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	32.92	—
2021年3月期第1四半期	24.20	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	58,692	46,339	78.2
2021年3月期	58,785	46,208	77.9

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 45,897百万円 2021年3月期 45,786百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期 (予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年3月21日～2022年3月20日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	18,246	4.3	1,714	4.6	1,682	4.0	1,138	13.0	66.25
通期	36,932	2.4	3,484	△16.7	3,416	△17.1	2,312	△18.2	134.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期1Q	25,607,086株	2021年3月期	25,607,086株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	8,423,350株	2021年3月期	8,426,790株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期1Q	17,181,784株	2021年3月期1Q	17,169,719株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の長期化により断続的に緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が発出され、経済活動の抑制が継続するなど、依然として先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの事業関連である住宅建築業界では、政府による住宅取得支援策や低水準の住宅ローン金利等が継続しており、新設住宅着工戸数は前年に比べ持家や貸家を中心に増加傾向で推移いたしました。

このような状況のもと、当社は、社内外での新型コロナウイルスの感染予防と拡大防止に努め、関係者皆さまの健康・安全の確保を優先する行動を心がけてまいりました。当第1四半期連結累計期間におきましては、前年に建設現場工事中断や遅延等があったことや新設住宅着工戸数が大幅に落ち込んだことに比べ、持ち直しの動きが見られたことなどから、売上高は8,941百万円と前年同四半期に比べ147百万円(1.7%)の増収となりました。利益につきましては、原材料単価の下落や増収効果等により、営業利益は887百万円と前年同四半期に比べ134百万円(17.9%)の増益、経常利益は863百万円と前年同四半期に比べ125百万円(17.0%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は565百万円と前年同四半期に比べ150百万円(36.1%)の増益となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。

なお、当第1四半期連結会計期間において、「省力化機械及び樹脂成形用金型」については重要性が低下したため、「その他」に含めて記載する方法に変更しており、以下の前年同四半期比較につきましては、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

#### (電材及び管材)

電材及び管材につきましては、建築工事現場において技能労働者の不足が叫ばれるなか、作業の省力化を目指した製品づくりとともに、さまざまな現場に適した多種多様な製品展開を進めることにより、業界の支持を得ております。

電材では、硬質ビニル電線管「J管」とその附属品等が増加したことや施工性に優れた合成樹脂製可とう電線管「ミラフレキシ」等が堅調に推移したことにより、電線管類及び附属品が増加しました。管材では、排水時のスムーズな通気が可能な通気弁「通気スイスイ」が増加しました。その結果、売上高が6,785百万円と前年同四半期に比べ300百万円(4.6%)の増収となりました。営業利益は原材料単価の下落や増収効果等により、749百万円と前年同四半期に比べ210百万円(39.0%)の増益となりました。

#### (配線器具)

配線器具につきましては、一部のハウスメーカーに持ち直しの動きが見られたものの、「J・WIDE」等の配線器具の本格的な回復には至らず、売上高が1,419百万円と前年同四半期に比べ12百万円(0.9%)の増収となりました。営業利益は人件費や減価償却費の増加等により84百万円と前年同四半期に比べ43百万円(33.8%)の減益となりました。

#### (その他)

その他につきましては、「省力化機械及び樹脂成形用金型」が減少した結果、売上高が736百万円と前年同四半期に比べ165百万円(18.4%)の減収となりました。営業利益は211百万円と前年同四半期に比べ47百万円(18.3%)の減益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて93百万円減少し、58,692百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金が565百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が191百万円、電子記録債権が242百万円、有形固定資産が197百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて224百万円減少し、12,352百万円となりました。その主な要因は、長期借入金94百万円、その他の固定負債が120百万円増加した一方で、法人税等の納付により未払法人税等が485百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて131百万円増加し、46,339百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金が205百万円増加、その他有価証券評価差額金が89百万円減少したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年4月27日に公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,064	19,629
受取手形及び売掛金	7,907	7,715
電子記録債権	3,023	2,781
商品及び製品	3,783	3,894
原材料及び貯蔵品	1,140	1,230
その他	807	921
貸倒引当金	△13	△14
流動資産合計	35,713	36,159
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,936	5,824
機械装置及び運搬具(純額)	3,111	3,013
土地	4,753	4,753
建設仮勘定	496	492
その他(純額)	707	722
有形固定資産合計	15,004	14,807
無形固定資産	286	262
投資その他の資産		
投資有価証券	1,257	1,143
繰延税金資産	1,079	963
退職給付に係る資産	1,024	1,044
長期預金	4,000	4,000
その他	595	489
貸倒引当金	△176	△176
投資その他の資産合計	7,781	7,464
固定資産合計	23,072	22,533
資産合計	58,785	58,692
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,533	2,564
電子記録債務	3,399	3,318
短期借入金	65	45
1年内返済予定の長期借入金	295	355
未払法人税等	655	169
賞与引当金	—	584
その他	3,349	2,791
流動負債合計	10,297	9,829
固定負債		
長期借入金	160	255
再評価に係る繰延税金負債	64	64
退職給付に係る負債	659	669
株式付与引当金	949	976
役員退職慰労引当金	113	106
その他	331	452
固定負債合計	2,279	2,523
負債合計	12,577	12,352

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月20日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,067	7,067
資本剰余金	9,538	9,538
利益剰余金	45,124	45,330
自己株式	△15,935	△15,929
株主資本合計	45,796	46,006
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	268	179
土地再評価差額金	△591	△591
退職給付に係る調整累計額	312	302
その他の包括利益累計額合計	△9	△109
非支配株主持分	422	442
純資産合計	46,208	46,339
負債純資産合計	58,785	58,692

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月21日 至 2020年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年3月21日 至 2021年6月20日)
売上高	8,794	8,941
売上原価	5,446	5,442
売上総利益	3,348	3,499
販売費及び一般管理費		
運賃	566	570
貸倒引当金繰入額	4	0
役員報酬	68	72
給料及び手当	650	665
賞与引当金繰入額	223	224
退職給付費用	36	28
株式付与引当金繰入額	15	14
役員退職慰労引当金繰入額	3	3
その他	1,025	1,031
販売費及び一般管理費合計	2,594	2,611
営業利益	753	887
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	2	3
保険事務手数料	1	1
作業くず売却益	1	6
その他	32	12
営業外収益合計	40	28
営業外費用		
支払利息	1	1
売上割引	45	46
その他	8	4
営業外費用合計	55	52
経常利益	738	863
特別損失		
減損損失	76	—
特別損失合計	76	—
税金等調整前四半期純利益	661	863
法人税、住民税及び事業税	151	130
法人税等調整額	77	146
法人税等合計	228	277
四半期純利益	432	585
非支配株主に帰属する四半期純利益	17	19
親会社株主に帰属する四半期純利益	415	565

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月21日 至 2020年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年3月21日 至 2021年6月20日)
四半期純利益	432	585
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	160	△89
退職給付に係る調整額	4	△10
その他の包括利益合計	164	△99
四半期包括利益	597	486
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	580	466
非支配株主に係る四半期包括利益	17	19



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年3月21日 至2020年6月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	電材及び 管材	配線器具	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,484	1,407	7,891	902	8,794
セグメント間の内部 売上高又は振替高	47	1	48	1,016	1,065
計	6,532	1,408	7,940	1,919	9,860
セグメント利益	539	128	667	258	925

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ケーブルテレビ事業、省力化機械及び樹脂成形用金型事業、運送事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	667
「その他」の区分の利益	258
セグメント間取引消去	2
全社費用(注)	△159
棚卸資産の調整額	△1
有形固定資産の調整額	△14
無形固定資産の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	753

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「電材及び管材」セグメントにおきまして、主に売却予定の土地・建物に係る帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては76百万円であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2021年3月21日 至2021年6月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	電材及び 管材	配線器具	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,785	1,419	8,204	736	8,941
セグメント間の内部 売上高又は振替高	50	—	50	956	1,007
計	6,835	1,419	8,255	1,693	9,949
セグメント利益	749	84	834	211	1,045

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ケーブルテレビ事業、省力化機械及び樹脂成形用金型事業、運送事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	834
「その他」の区分の利益	211
セグメント間取引消去	7
全社費用(注)	△160
棚卸資産の調整額	△0
有形固定資産の調整額	△4
無形固定資産の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	887

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する情報

当第1四半期連結会計期間において、「省力化機械及び樹脂成形用金型」については重要性が低下したため、「その他」に含めて記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント区分で記載しております。